

国立病院機構 大阪医療センター 平成 27 年度 第 3 回倫理委員会  
議事要約

日 時：平成 28 年 2 月 2 日（火）16：00～17：20

場 所：国立病院機構 大阪医療センター 緊急災害医療棟 2 階 会議室

出席者：副院長・多和昭雄（委員長）、臨床研究センター長・是恒之宏（副委員長）、副  
院長・中森正二、副院長・看護部長・渡津千代子、統括診療部長・和田 晃、  
薬剤部長・山崎邦夫、事務部長・宮本博之

院外委員：大野ゆう子、鍵谷文子、北村英雄、倉光弘己、崎田喜美枝、鈴木敬一郎、三木  
健二

議題：

1. 前回議事録確認

会議終了までに特に異議なく承認された。

2. 実施許可申請について

1) 課題 171 「オプチューン（販売名：NovoTTF-100A システム）の自由診療での使用」

（研究責任者：脳神経外科 沖田典子）

脳神経外科 沖田典子医師から説明があり、その後質疑応答がなされた。高額  
な医療である、有効性が明確でない、当院で行うべき医療かどうか疑問がある、  
などの意見が委員からだされ、審議の結果、本研究は却下となった。

ただし、この治療は厚生労働省の認可をうけており、患者からの申し出があっ  
た場合は、個別に倫理委員会の院内委員による迅速審査をおこない適応を決  
定することが承認された。その場合、文章で説明同意をとること、本治療の効  
果についての的確な情報を患者に伝えることを条件とする旨意見の一致をみた。

2) 課題 172 「ジドブジン（AZT）シロップを用いた先進的 HIV/AIDS 医療の実施」

（研究責任者：感染症内科科長 上平朝子）

感染症内科科長 上平朝子医師から説明があり、その後質疑応答がなされた。

審議の結果、修正のうえ承認となった。修正点は以下のとおり

- ・同意書の本文 1 行目「私は、ジドブジンシロップ・・・」を「私は、私が出産  
した新生児に対してジドブジンシロップ・・・」とする。

3. その他

1) 院内倫理委員会（臨時）について

平成 27 年 12 月 4 日に開催された「救命救急センター入院中の児童からの  
臓器提供の可否について」を議題とする院内倫理委員会（臨時）の報告が  
多和委員長からなされ、承認された。

2) 倫理委員会臨床部会について

平成 27 年 12 月 28 日に開催された「救命救急センター入院中患者に対する身体的拘束について」を議題とするの倫理委員会臨床部会報告が多和委員長からなされ、承認された。

3) 迅速審査について

前回の本審査以降に行った院内倫理委員会による迅速審査 3 件（課題 98-6、164-5、170）の報告が多和委員長からなされ、承認された。

4) 継続審査について

13 件の継続審査結果および課題 94 において一か所研究責任医師の誤記があった旨が多和委員長から報告され、承認された。

5) e-ラーニング CITI について

数名、未受講の方がおられるので、事務局から後日連絡する旨、多和委員長から報告があった。

4. 来年度の開催予定日について

多和委員長から次回の開催予定日について案が提示され原案どおり下記のごとく承認された。

2016 年 6 月 14 日（火） 16 : 00～

2016 年 10 月 4 日（火） 16 : 00～

2016 年 2 月 7 日（火） 16 : 00～